

要求いっぱい  
会員大募集!

# 全国とつながる 新婦人ってすごい!

和歌山・日高支部天使班

オンライン次世代全国ミニ交流「わたしと選挙編」(7月25日)の参加をきっかけに、新しい仲間が入会しました。原水爆禁止世界大会にも2人が初参加するなど、次世代が元気な天使班の活動を紹介します。



次世代全国ミニ交流にみんなで参加

目的を持った活動にワクワク  
原水爆禁止世界大会  
には、班から親子2組が初参加。「海外からの参加も多く、世界中絶の声が高まっている」と感じました。1人の声は小さいが、自分の周りから日本や世界にひろがるよう学びたい。「小3の息子と参加。放射能は怖いと深く刻まれたようだ。被災者しか知らない事実を聞き取り、私も

が無償になってうれしい。今後はオーガニック食材など給食の質の確保も運動していきたい」と。その女性性は次世代全国ミニ交流にも参加し、「みなさんが楽しく目的を持って活動していることにワクワクする。平和な世界を子どもたちにつなごう」と、その場で入会しました。班会には小組と違つた楽しみが



子どもたちも一緒に世界大会報告会

今年、転籍などで会員が3人増え、「運動や仲間づくりを進めるためにも班会をした」との思いを強くした班長。「国会行動で作ったタペストリーをミーティングで発表した」「小組とは違うから班会にしよう」と呼びかけ、初めての班会が実現。ご飯を食べながらワイワイと替え歌やプラカードを作り、

「もっと新しい人とつながりたいね」と仲間づくりの話もできました。学校カフエは学校の話が中心ですが、班会は一人ひとりが興味を持っていて、悩みや要求も出され、小組とは違う楽しさを実感しました。

2回目の班会で次世代の支部事務局長が「和歌山はオンライン次世代全国ミニ交流の参加が少ないと、ずっとつぶやくと、「集まって晩ご飯食べながら班会にしよう!」とアイデアが出され、「いいね!」「やりたい」とみんな賛同。体験型宿泊施設を運営している会員が「うちを使ったらいいよ」とすぐに会場も決まりました。

## 主張

「戦争も核兵器もない世界へ」と世界が連帯し、「排外主義、女性蔑視」発言などにも抗議のアクションが広がるなか、機敏に声を上げ行動する新婦人が、「排外主義を広げる政党が大きくなって怖い。新婦人を応援したい」と、女性たちの思いや行動を受けとめる場となっています。

### 第32回全国大会へ、仲間を増やそう 会員の前大会時現勢を突破して迎えよう

「戦後、この2年間、会員で前大会時現勢を超えて大会を迎えられるようにと、班から「みんな」にこだわり努力してきました。「楽しい班会や小組に読者や知人を誘って」「班で原爆展を開催した女性に読者に迎え、自治体要請や新婦人の企画に誘うと、「給食

7月25日のミニ交流には初参加も含め7人とオプザーバーで支部長が参加。選挙期間でなくても政治の話をするのが大事なとの発言を聞き、「全国とつながってる新婦人すごい!」「選挙の結果は残念なところもあったけど前向きになれた」「普段から政治の話ができたらいいね」と盛り上げ

「もつと新しい人とつながりたいね」と仲間づくりの話もできました。学校カフエは学校の話が中心ですが、班会は一人ひとりが興味を持っていて、悩みや要求も出され、小組とは違う楽しさを実感しました。

## 沖縄戦の始まりの頃



新婦人沖縄県本部の新春の集いであいさつする外間さん(今年2月、那覇市)

聞き書き  
母の歴史  
沖縄県 外間久子さんのお話 (1)  
今回から、米軍統治下の琉球政府で、女性の人権保護など福祉に関わり、沖縄の新婦人の草創期から尽力した外間久子さん(87歳)のお話です。

私は、1938年、与那原町に生まれました。1945年4月からは小学校へ行けると、ランドセルを買ってもらい楽しみにしていました。ところが、学童疎開に備え荷物を那覇に送っていたところ、1944年の那覇市「10・10空襲」の時に焼けてしまいました。1942年頃より、九州などへの学童疎開が始まっていたのですが、戦時下、疎開船など26隻が撃沈され、子どもを含む4500人余が犠牲に。私は、母のいとこが憲兵の幹部で、「いい船に」と言っつやり過